

# インボイス学習会 資料

## 立場の異なる2つの漫画で インボイス制度について説明

### 1 : フリーランスの視点（否定的）



とことり@読切掲載中！  
@tokoritomotori

### 2 : 税理士の視点（中立）

[どこでも地元メディア ジモコロ](#)

## 資料 1 インボイス制度って何？

### 「インボイス制度」と言われて、ピンとくる方はいますか……？

聞き馴染みの薄いそんな制度が、2023 年 10 月から実施されようとしています。

影響を受ける方は年間売上 1000 万円以下の、フリーランスや個人事業主としてこんな職業に就いている人です

#### 【インボイス制度で負担が予想される職業】

※年間売上 1000 万円以下の人が対象 → (ごく簡単な見分け方は、サラリーマンか否か、です)

俳優、映画監督、脚本家、カメラマン、ディレクター、構成作家、編集者、アニメーター、芸人、アーティスト、小説家、漫画家、翻訳家、校正者、ライター、デザイナー、イラストレーター、スタイリスト、ヘアメイク、Web デザイナー、IT エンジニア、ミュージシャン・音楽家、コンサート・ライブスタッフ、ハンドメイド作家、大家（居住用除く）、スポーツトレーナー、インストラクター、ダンサー、マッサージ師、ネイリスト、コンサルタント、一人親方、個人タクシー、ウーバーイーツなどの配達パートナー、配送業者（赤帽など）、シルバー人材センターで働く高齢者、伝統工芸などの職人、農家（農協、市場以外と取引がある人）、日雇い労働者、駐車場経営者、スナックなどの飲食店・商店の事業者、ヤクルトレディ、フリマサイトや手作り通販サイトの出品者、内職、クラウドワーカー、今は存在しない新しい仕事に関わる人など

ではこのインボイス制度とは一体なんなのでしょうか。

**とても簡単に説明すると、インボイス制度とは「民間同士で消費税を押し付け合う制度」です。**

特に「多様な働き方で小さな商売をする人」に大きな負担を強いるのが特徴です。

「え？消費税って？」「買い物の度に今も払っているよ！」と思いますよね。

**実は、消費税を国に払っているのは消費者ではなく、事業者やお店**です。

ただその中でも、「多様な働き方で小さな商売をする人」、つまり上記に挙げたような年間売上 1000 万円以下の零細企業やフリーランス、個人事業主といった人々はこれまで消費税を支払う必要のない免税事業者でした。

インボイス制度は、この免税事業者に対して課税業者になることを迫るもので、税務署に申告の上、**平均して一事業者あたり年間 15 万 4000 円以上の納税が発生する**とされています。

これは 10%の消費税のもとでの計算なので、今後消費税が 20%になれば 30 万円以上を毎年、税務署に納税しなければなりません。

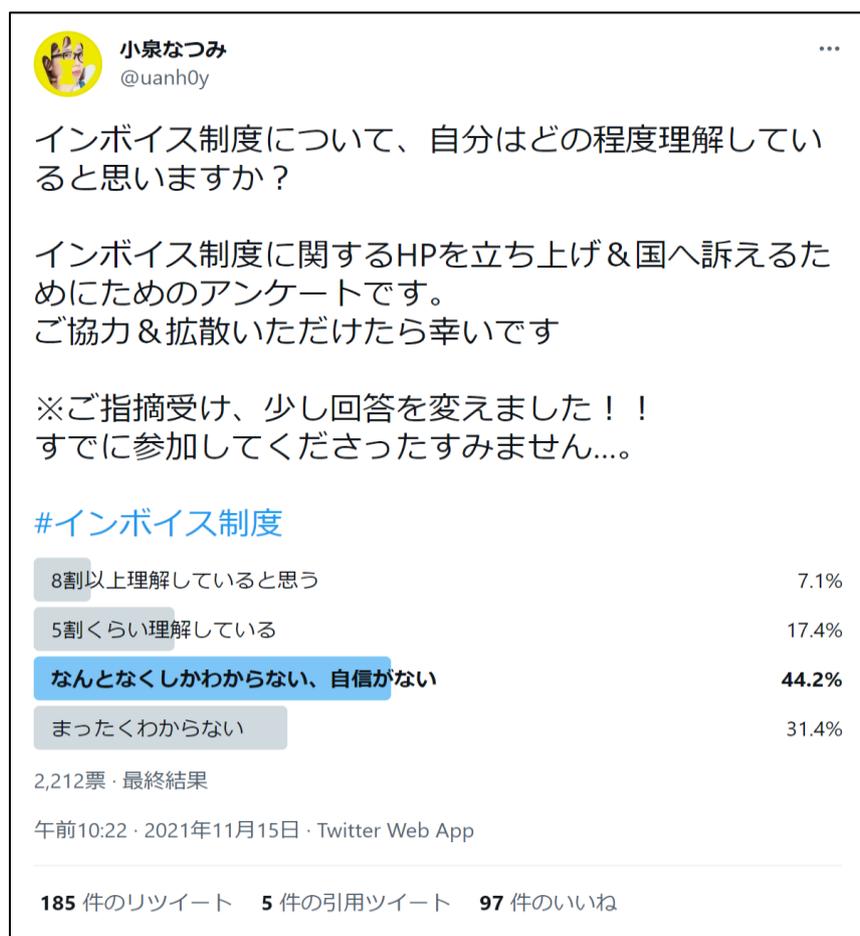
インボイス制度は、支払い能力の低い人々に対する、あまりに厳しい、酷な増税ではないでしょうか。さらにこの制度のもとで納税を拒否すると（あとで説明しますが、これは免税事業者でい続けることを意味します）個人事業主には仕事の発注がなくなる可能性が非常に高いです。

**インボイス制度をのめば、消費税の納税が発生する。**

**そんな負担には耐えられないと税務署への届け出を拒否すれば、仕事なくなる。**

このような、**どちらに転んでも無傷ではいられない、苦役のような選択を迫るのがインボイス制度**です。

ちなみに、SNS で独自に行った理解度調査では、75%の人がインボイス制度について「なんとなくしかわからない」「自信がない」または「まったくわからない」と回答しています。



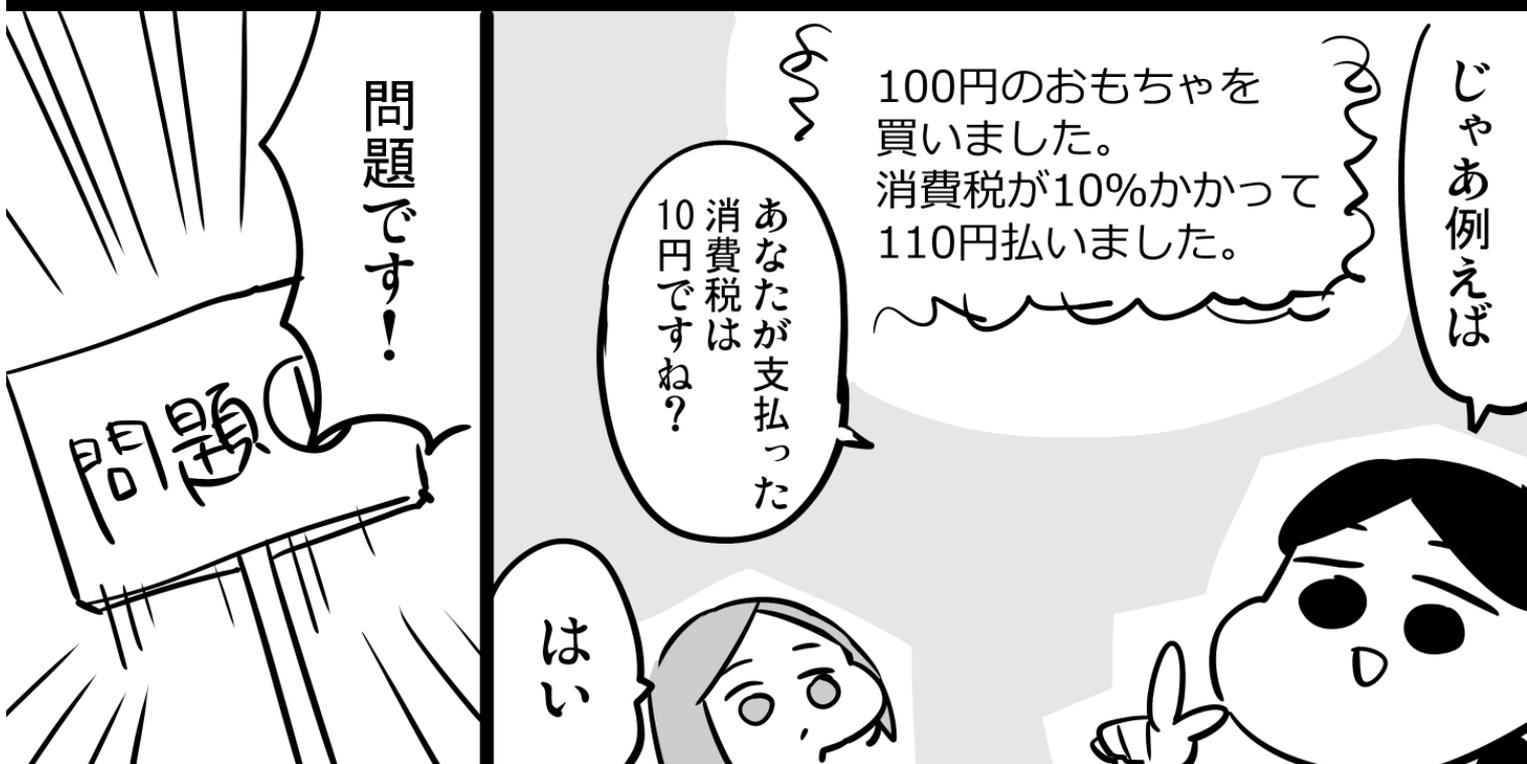
以下、少しむずかしいですが、インボイス制度の仕組みを漫画で説明します。

参考:《STOP インボイス!》弱いものから搾取し、多様な働き方とカルチャーを衰退させるインボイス制度を廃止してください!

# インボイス制度

## ってなに？

著：とこり





この消費税は【誰に】支払いましたか

お店に  
国に  
支払ってあげる

正解は……

えっ？  
税金なんだから  
国に支払ったんじゃない……

でもお店に  
支払ってるよね？

あっ  
あれ？

第二問！  
問題②

その時に  
「もらった消費税」を  
計算して  
まとめて国に支払って  
くれるんですね！

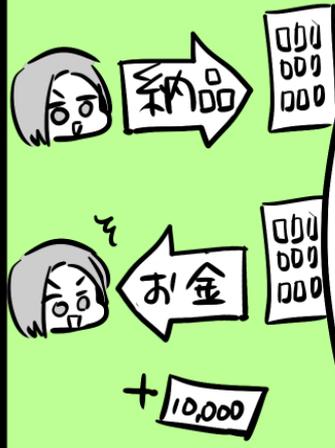
便利！



事業を営んでいる会社は  
毎年、国に収入を伝える  
「確定申告」というものを  
やっています

あなたはとある企業に  
頼まれてお仕事をしました

「10万円」という約束でしたが  
「11万円」もらえました。  
なぜですか？



消費税10%を  
上乘せして  
くれたんだね！

正解！

じゃあ  
あなたは国に  
1万円の消費税を  
支払わないと  
いけませんね？

えっ……？

えっ

ワタシ……

支払ったことナイ……

これって  
脱税……!?

ククク

大丈夫！

売上が1千万円以下の  
個人事業主は「免税事業者」  
と呼ばれていて

消費税を  
支払う必要が  
ありません！

よかったー！  
脱税じゃなかった！

だって考えてもみなよ

年収300万の人だと  
消費税10%で  
**30万**も国に支払わないと  
いけないんだよ？

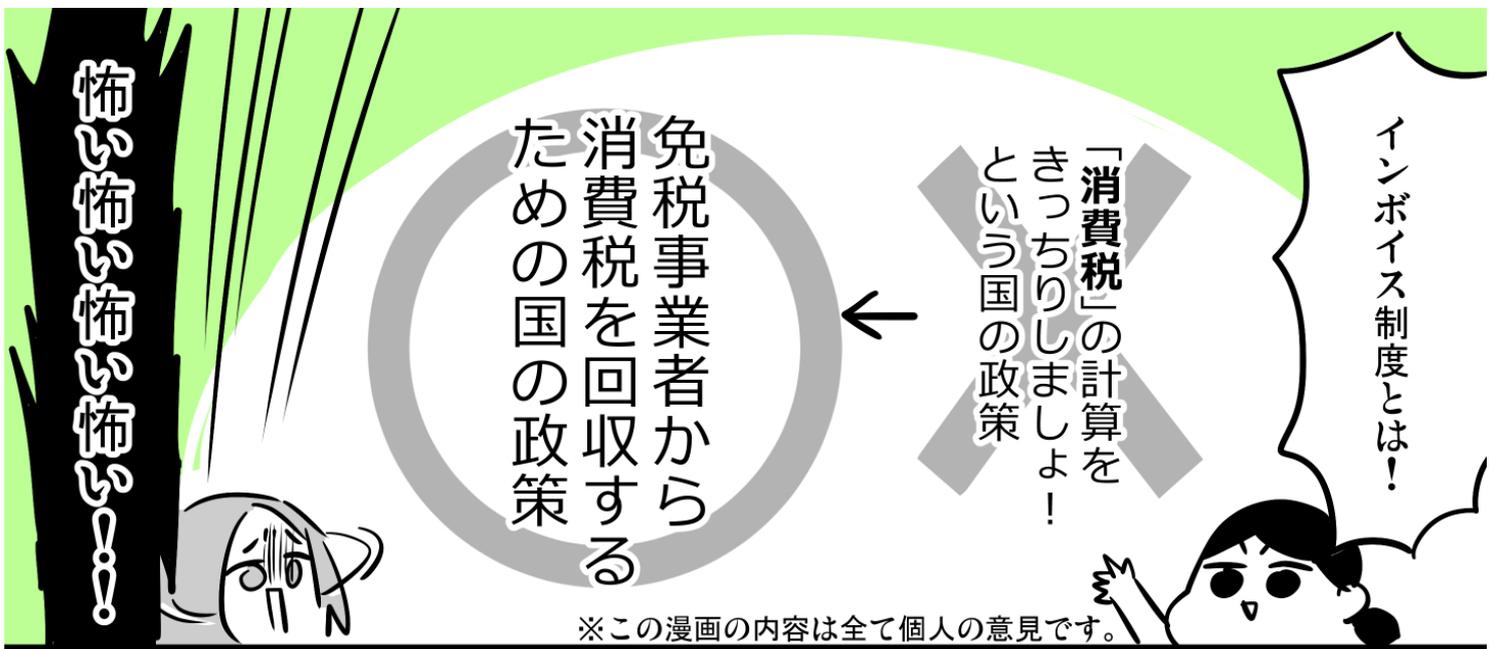
住民税も10%あるから  
合わせて**60万**だよー？  
やばすぎるっしょ

たしかに！  
年収300万で  
そんなに支払える  
わけないよねー！

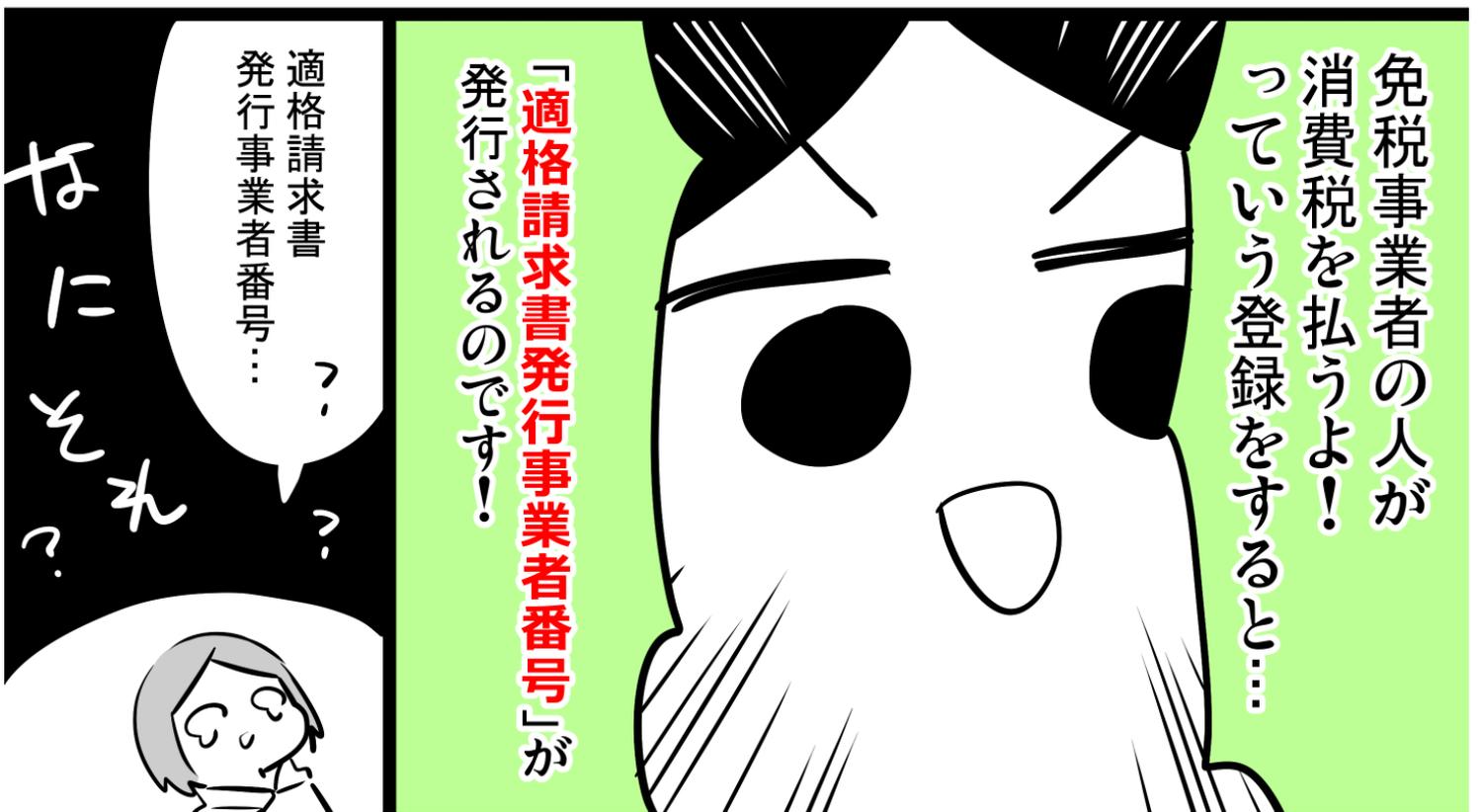
※細かい計算は省きます

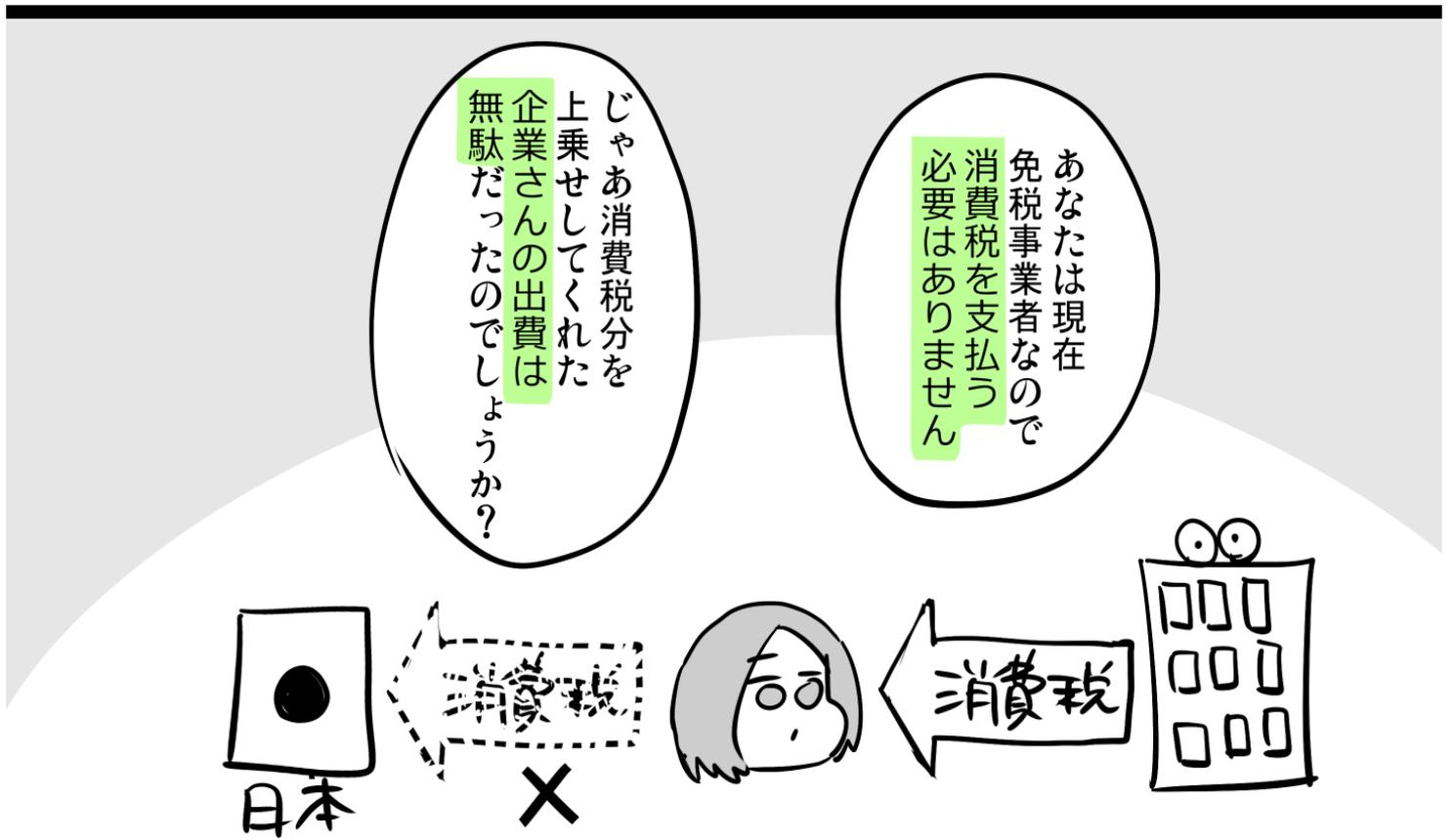
まあ  
インボイス制度って  
それを支払わせる  
制度なんだけどね

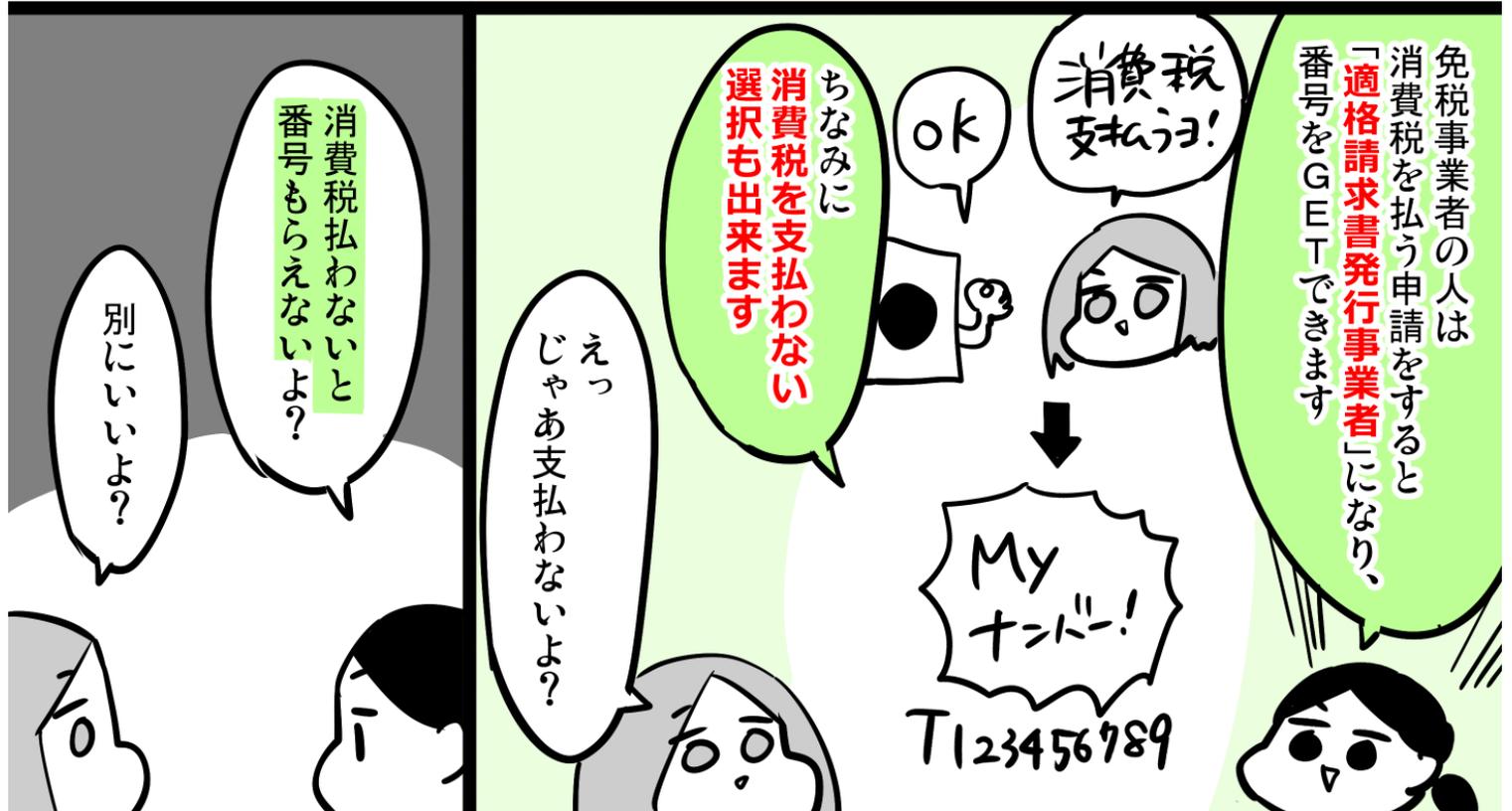
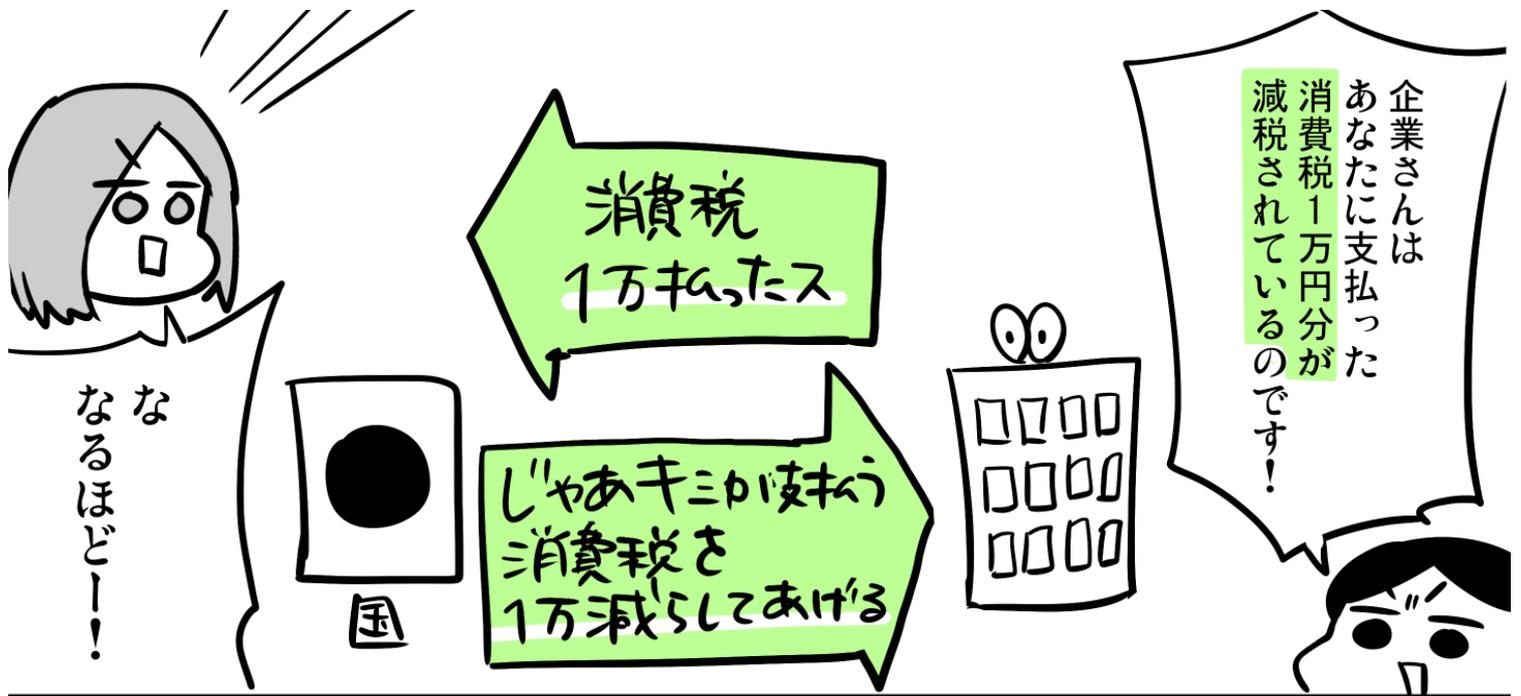
は？



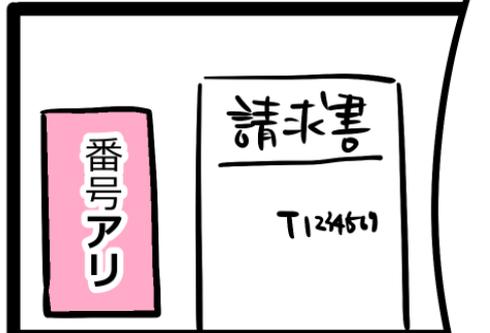
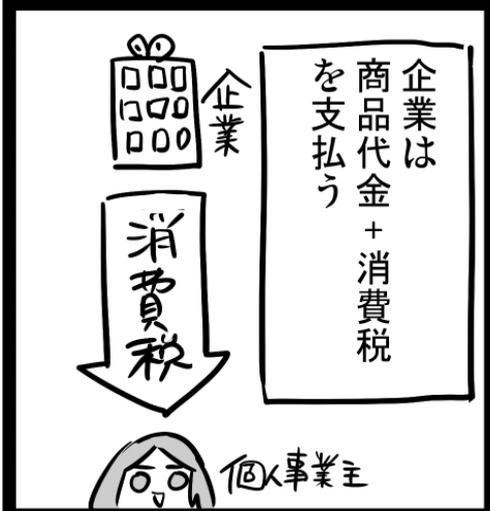
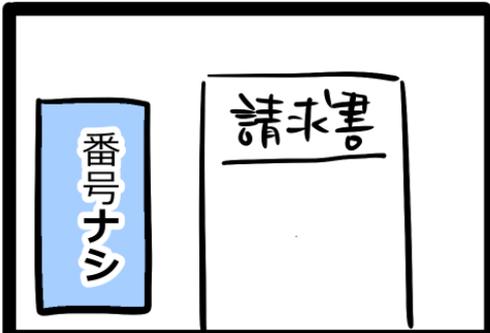
※この漫画の内容は全て個人の意見です。



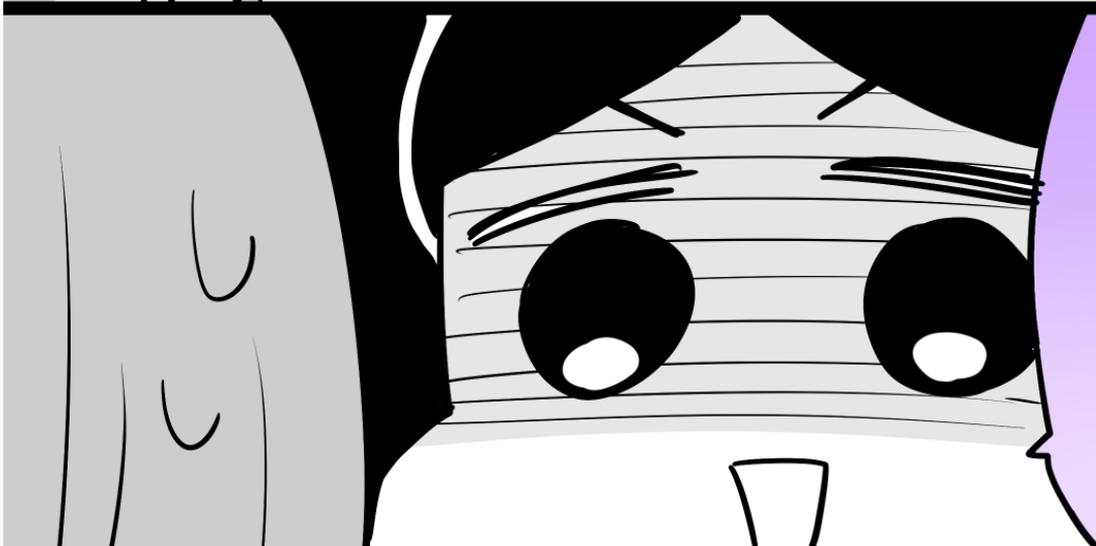


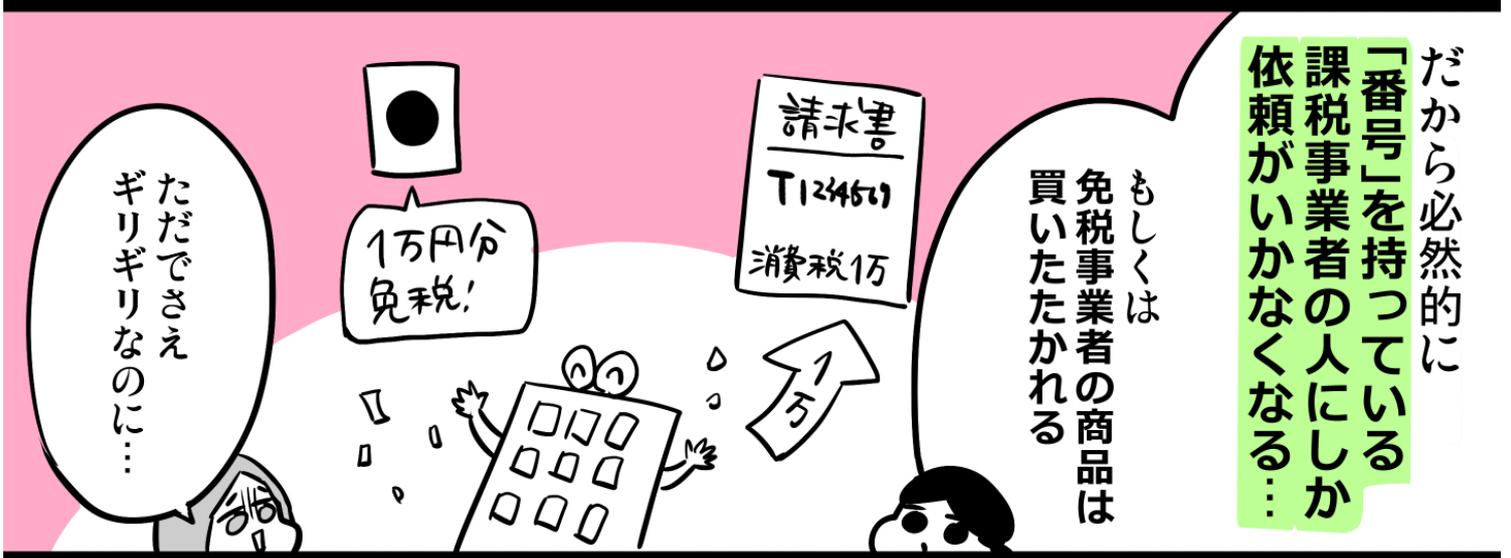
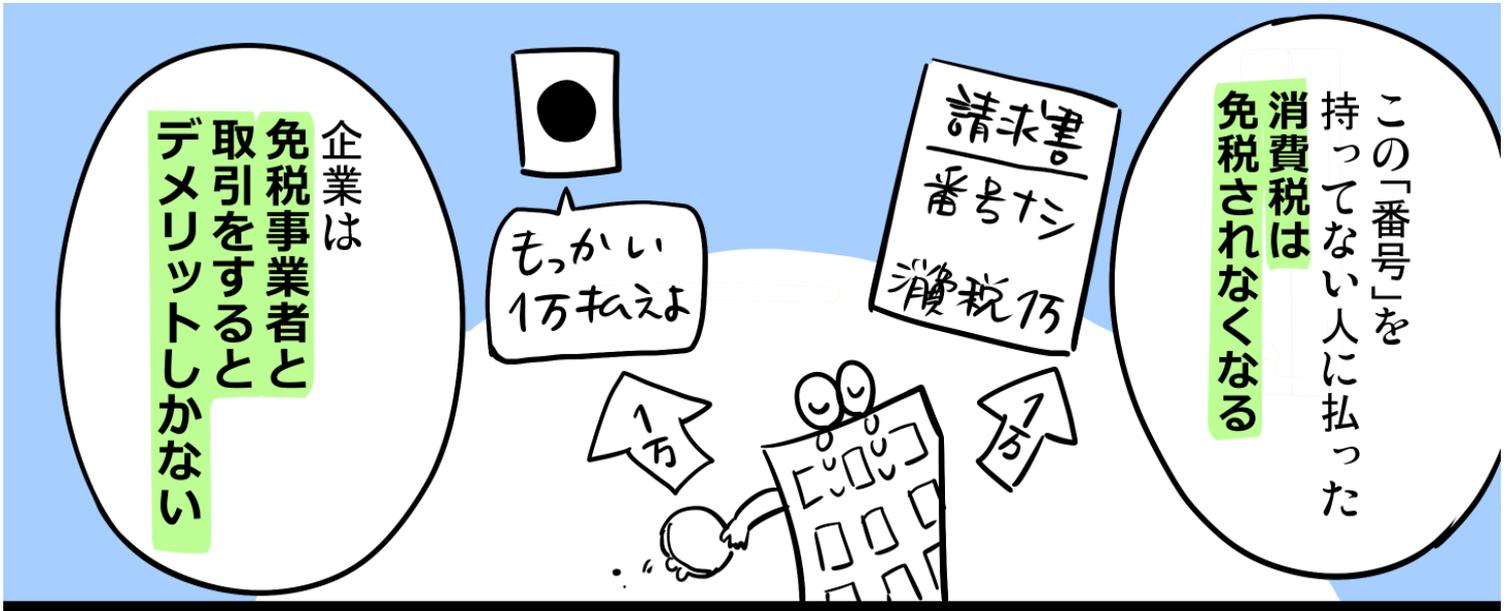


ではここで  
**番号アリ**の請求書と  
**番号ナシ**の請求書では  
何が異なるのか  
見てみよう！



これが  
インボイス制度  
だからだよ





来年(2023年)  
施行予定です

決まってるの!?

もうほぼほぼ  
決定

ひびくよー……

これが国の  
やり方だよ

ちなみに  
消費税の負担が  
徐々に増えていく  
仕組みになってるよ  
慣れてほしいんだね

令和5年10月～令和8年9月  
企業負担 20%  
↓  
令和8年10月～令和11年9月  
企業負担 50%  
↓  
令和11年10月～  
企業負担 100%

気の遣いが  
的外れ

インボイス制度は  
個人事業主なら  
全ての業種に適用されます

今のところ  
法人化できるくらい稼ぐ  
くらいしか逃げ道が  
ありません

この漫画は  
いち漫画家が  
趣味で描いた漫画です

厳密に言うとう違う部分も  
端折って分かりやすく  
構成しています

本当に施行される  
ギリギリまで  
覆せる可能性はあるので  
諦めず、まずは  
理解して欲しいです

拡散の協力  
宜しくお願い致します



とことり@読切掲載中！ @tokoritomotori · 10月30日

...

私のこういった解説漫画は、「初めて見る人でも8割くらい理解できる」を目標に描いています。100%知りたい方は、他の本を読んだり、専門家に聞いたりする必要がありますので、その旨ご了承ください。  
とりあえず、概要だけでも知ってほしいです！！！！宜しくお願いします！！！！

🗨️ 4

↻️ 739

❤️ 2,601



とことり@読切掲載中！ @tokoritomotori · 10月30日

...

免税事業者ズルじゃん！！という意見について、なぜいままで「免税」されていたのか、ということについて分かりやすく教えてくださいましてリプがあったので共有致します。



吉本るみね @yoshimotolumine · 10月30日

返信先: @tokoritomotoriさん

公には貧乏だから免税というより、零細事業者は消費税を申告するレベルの帳簿書類の保存整備に割く時間や手間、人手を確保することが困難だからというのが免税制度の理由と言われてますね。年収（売上）1千万円が税理士に報酬を支払うコストを捻出出来るか否かの境目とみなされているのかと思います。

🗨️ 20

↻️ 1,262

❤️ 1,633



とことり@読切掲載中！ @tokoritomotori · 10月30日

...

会社員の方は、「免税事業者」という仕組みを知るのが初めてで、びっくりされたかもしれませんね。勝手に着服していたわけでも、盗んでいたわけでもなく、ルールに基づいて「売上」として計上しています。代わりに、仕入れや経費で支払った消費税を免税することができないという仕組みになっています。

🗨️ 2

↻️ 161

❤️ 359



とことり@読切掲載中！ @tokoritomotori · 10月30日

...

「免税事業者だけ優遇されている」という主張につきましては、圧倒的に会社員の方が優遇されています。各種保障も手厚い上に会社が費用を一部負担してくれてますし、経費負担がないにも関わらず給与所得者控除（免税制度）で最初から経費が引かれて計算されています。  
負担は免税事業者の方が多いです

🗨️ 12

↻️ 244

❤️ 472



引用元：



とことり@読切掲載中！

@tokoritomotori

# インボイス制度について 税理士さんに聞いてみた！

ジモコロを  
ご覧の皆様  
初めまして。

ぺこり

マンガ家の  
秋鹿えいと  
と申します。

僕は去年から  
趣味で漫画を  
描き始めて、

カキ  
カキ

今年から漫画の  
お仕事を頂いて  
生活できるよう  
になりました。

：その矢先。  
弱小フリーランスが  
損をするといわれる



「インボイス制度」が  
2023年から導入される  
とネットで話題になった。

インボイス制度の  
色んな記事を  
見てみましたが、

未知の単語や  
たくさん  
文字数に  
圧倒されて、

よく理解が  
できません  
でした。



確定申告も未経験で  
よくわからない僕は、

ブルブル...



「インボイス制度」の  
噂を聞いて不安で  
怯えていた。

ということ  
で  
担当編集と一緒に、  
税理士さんに

そんな時

それなら  
税理士さんに直接  
インボイス制度に  
ついて聞きます？

編集者さん

え!?!  
ハイ!  
是非!

行くぞ~!

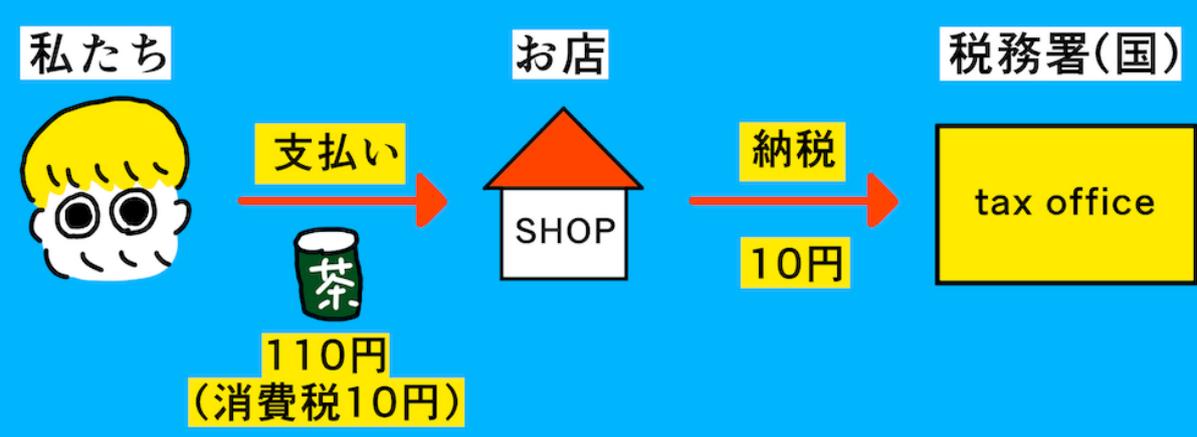
インボイス制度について  
色々聞きに行きました!







図にするとこんな感じです！



消費税を受け取った人が、支払った人の代わりに税務署へ納税

→これを免税されているのが「免税事業者」

→そうじゃない人は「課税事業者」

また「免税事業者」から「課税事業者」になることは可能ですが、その逆は不可能です。



わざわざ課税事業者になるメリットってなんででしょうか？

メリットはある人はありますが、ない人はないです。



メリットがあるのは、売上がそんなにないのに、1年目にたくさん設備投資した人などです。



戻ってきた！



例えばお店を開くなどで初年度の出費が多くなり、払った消費税の方が貰った消費税よりも多くなる人は、還付されることがあります。

それ以外、とくにライターやイラストレーターの方は絶対「免税事業者」でいるほうがお得です。

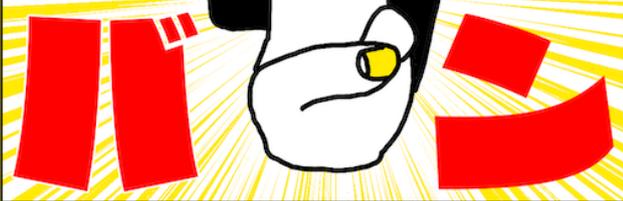
### 現状維持

なるほど。免税事業者と課税事業者の違いはわかりました。



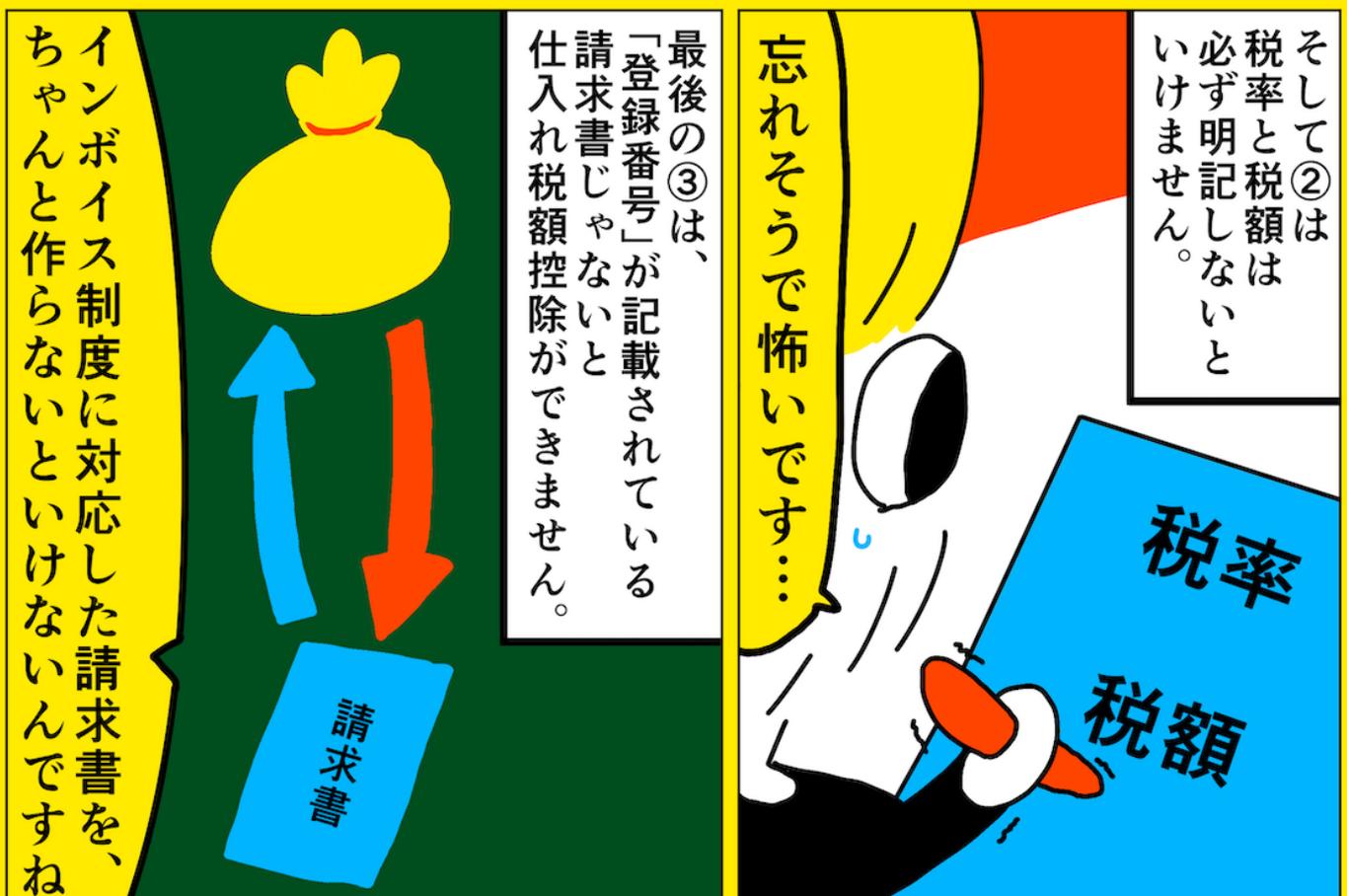
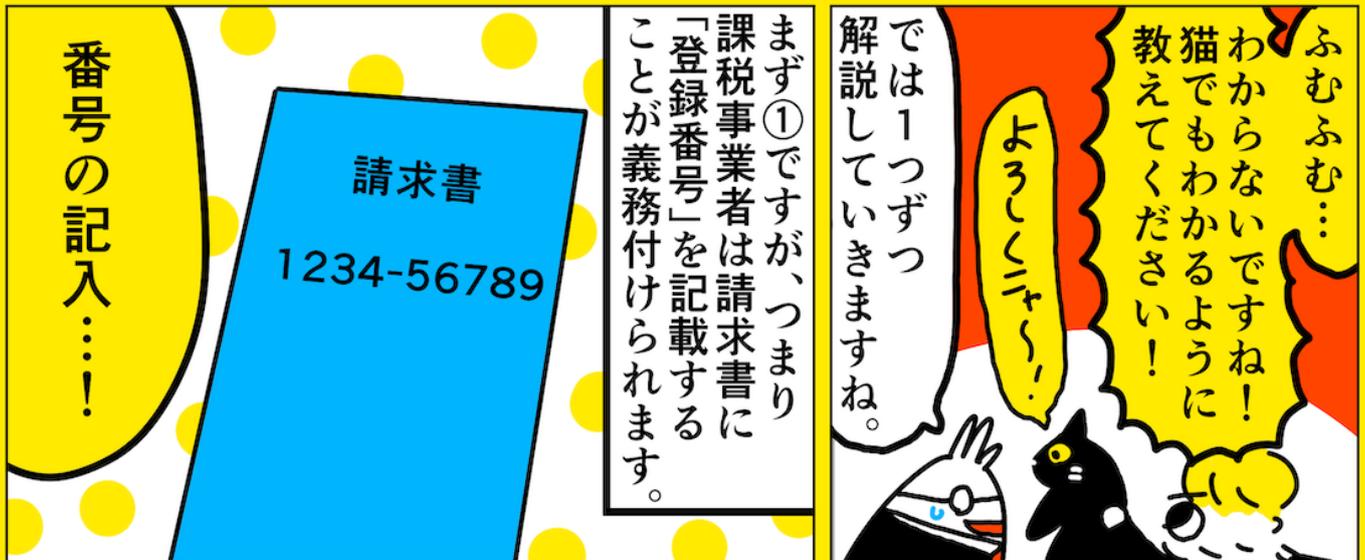
それでは本題のインボイス制度について教えてください。

そうですね。インボイス制度の要点は大きく分けて3つあります。



# インボイス制度の3つの要点！

1. 課税事業者は「インボイス」の発行が義務付けられており、また、自ら発行した「インボイス」の副本の保存が義務付けられている。
2. 「インボイス」に適用税率・税額の記載が義務付けられている。
3. 免税事業者は「インボイス」を発行できない。したがって、免税事業者からの仕入れについて仕入税額控除ができない。

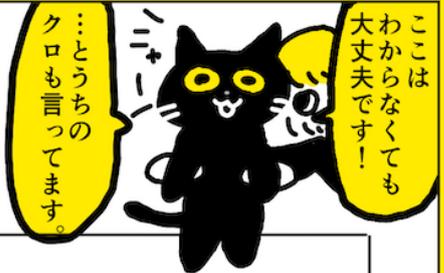


※ここでいう「インボイス」とは「適格請求書=ちゃんとした請求書」のこと

# インボイス制度対応の請求書の書き方！

インボイス制度の正式名称は、「適格請求書等保存方式」です。  
つまり、これらの条件を満たした請求書の発行を求められることになります。

- 現行の請求書には
- ① 発行者名(自分の名前)
  - ② 取引年月日
  - ③ 取引内容
  - ④ 取引金額(税込み)
  - ⑤ 受領者名(取引先の名前)



請 求 書				
⑤	ジモコロ商事	御中	請求No.	XXXXXXXX
ご担当:	木村	様	請求日	② 2023年10月31日
<b>件名: 10月分原稿制作費</b>			① 秋鹿えいと	
下記の通り、ご請求申し上げます。			〒123-4567	
			東京都新宿区新宿1-2-3	
			新宿第1ビル2階	
			TEL: 090-1234-5678	
			⑧ 事業者番号: XXX-XXXX	
合計金額	④	¥199,580	(税込)	お支払期限: 2023年11月30日
No.	摘要	数量	単価	金額
				¥0
③	原稿その1	1	100,000	¥100,000
	原稿その2	1	100,000	¥100,000
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
				¥0
お振込先		⑥	10%対象合計	¥200,000
〇〇銀行 △△支店		⑦	消費税	¥20,000
普通			源泉所得税	¥20,420
0123456			合計	¥199,580
アイカエイト				

インボイス制度に対応請求書は、新たに

- ⑥ 税率ごとに合計した対価の額
- ⑦ 税率ごとの消費税額
- ⑧ 事業者登録番号の明記が必要になります。



法律で守られていて、請求する権利があります。

インボイス導入後も消費税分を請求するかどうかは、請求側（ライターや漫画家など）が決められます。

11,000円  
(1万円+消費税10%)で請求しても大丈夫です。

今まで11,000円  
(1万円+消費税10%)請求してたなら

「あなた消費税納めてないよ」とは、本来は言えません。

「消費税を納めていない人なんだな」とわかってしまう。

インボイスがはじまると、課税事業者は請求書に「登録番号」の記載が義務付けられるので、



現段階では「免税事業者」or「課税事業者」を見分ける方法がないので、届いた請求書どおりに支払うことになってます。

# ここまでのインボイス制度の まとめ！

・課税事業者は「インボイス」の発行が義務付けられており、また、自ら発行した「インボイス」の副本の保存が義務付けられている。

→課税事業者は、請求書に「登録番号」を記載することが義務付けられる。

・「インボイス」に適用税率・税額の記載が義務付けられている。  
→税率と税額は必ず明記！

・免税事業者は「インボイス」を発行できない。したがって、免税事業者からの仕入れについて仕入税額控除ができない。  
→「登録番号」が記載されている請求書じゃないと、仕入れ税額控除ができない

・インボイス制度が導入されたからってフリーランスが損するとは言えない。





「仕入れ税額控除」とは、仕入れるものと販売したものの消費税の差額を納めることです。

例えば...

11万円(消費税1万円)で仕入れをして

液Aが買った

↓

成果物を33万円(消費税3万円)で売った場合

売れた

↓

3万-1万=2万円を納めなきゃいけない消費税の事です。

⇒ 国に2万円

フリーライターや漫画家などは仕入れは無いけど、交通費やPCを買ったり関係あります。の経費には消費税がかかります。

# 最後のまとめ

## インボイス制度が始まると何が変わるのか？

・請求書が変わる

(適格請求書発行事業者の登録番号を明記する)

・インボイスの対応の請求書じゃないと、仕入れ税額控除が受けられなくなる。

・始まって、僕らフリーランスは消費税を請求しても良い。(とはいえ、取引先によってどういう対応をされるか、その時どうなるかは未知数…)

☆最後まで読んでくださりありがとうございます！



# 売り上げを増やすのが最善の道!?



秋鹿えいと

「というわけで、インボイス制度導入後も『免税事業者であっても、消費税分を取引先に請求できる』ことは税理士さんへの取材でわかりました。とはいえ、取引先との関係性があるとのことなので『発注が減ってしまうかも』とか、『(実質的な)値下げをされてしまうかも』といった不安を抱えているフリーランスは多いと思うんです」



宮脇さん

「はい、はい」



秋鹿えいと

「免税事業者であるフリーランスとお仕事をする事の多いノオトさん的には、『インボイス制度』をどう捉えていますか？」



宮脇さん

「会社からすれば多少は負担額が増えるでしょうし、お財布に影響を与える制度だと思います。だけど、僕たちのような立場の会社がやるべきは『フリーランスの人たちが損をしない』ようにすることなんです」



秋鹿えいと

「『インボイス制度』が始まると、免税事業者であるライターさんやイラストレーターさんとの取引は、仕入れ税額控除の対象にならないんですよ……？」



宮脇さん

「はい、知っていますよ。」

ただ正直なところ、『消費税』単体でいくら納めているかというのは、よくわからないんですよ。今までも消費税 10%をそのまま払っていたかという、いろいろな控除もありますし、消費税を含めた会社全体の数字で経営を考えるので」



秋鹿えいと 「では、『インボイス制度』が導入されても、変わらず我々フリーランスとお付き合いを続けてくれるんですね……？（泣）」



宮脇さん 「もちろんですよ！（笑）」

というより、私たちの仕事はフリーランスのみなさんがいなければ成り立ちませんし、会社の経営にどれだけ影響があるかは、実際に導入されてみないとわからないことも多くて……。

それに、経営者としてやるべきことはとてもシンプルで、『売上げを増やす』しかないんですよ。出ていくお金を心配するより、入ってくるお金を増やすことを考えるほうが建設的ですし、最大化する手だてを経営者は考えるべきだと思うので」



秋鹿えいと 「なるほど、なるほど。それでいうと、我々フリーランスも同じかもしれませんね」



宮脇さん 「ぶっちゃけ『外注費多いな〜』と思うことも、もちろんありますよ（笑）。だからこそ

売上げを上げればいいし、上げるしかないんです。

消費税が増えている一方で法人税率は下がっているので、結局トータルで考えていくしかないと思います。

協力してくれているフリーランスの方々にも、『会社として、ちゃんと法令に則ってやっていますよ』とお伝えしていかなければなりませんね。正直に、信頼できる関係性を築いていくのが大事だと思うので」



秋鹿えいと 「税理士さんもおっしゃっていたように、『インボイス制度』については導入されていないとわからないことも多いようですね。ビクビク怯えているよりは、いい仕事をして取引先との信頼関係を築きながら、しっかり稼ぐことが大事ですね！ 今日ありがとうございました！」